



いつ誰が操作しても同じ除菌効果

# 自社開発の微酸性次亜塩素酸水生成装置で安全に貢献する

## 株式会社 ティエラ

### 事業内容と沿革

#### 大手建設会社の 新事業への協力からスタート

除菌用途に微酸性次亜塩素酸水生成装置を開発し、医療機関や動物病院、保育施設などへ販売している。次亜塩素酸水は食品添加物としても指定されており、安全性を保ちながら殺菌力に優れる。

もともと経営していた建設会社の一部門としてスタートし、平成16年に専業会社として設立した。その背景には建設不況があったという。元請けの大手建設会社が新事業として除菌装置を手がけ、その販売を持ちかけられたのがきっかけだった。

まったくの異分野での事業展開だったが、元請け会社から託された10台をいち早く売り切った。下請け企業の中でも飛び抜けた販売実績が評価され、関西の代理店、さらに総販売元へと次々と格上げされ、最終的に約6,000台を販売した。

ただ元請け会社が除菌装置から撤退したことで、「ティエラ」では自社製品の開発に乗り出す。もともと扱っていたのは中性水の生成装置だったが、自社開発ではより除菌効果が高い微酸性水の生成装置に取り組んだ。平成24年に開発を終え、微酸性水生成装置「エルビーノ」として販売をスタート。初めての自社開発製品となったが、「開発という意味では環境工学技術と変わらない」と、建設会社社長でもある藤井健次専務は話す。

### 強み

#### いち早く微酸性に取り組み、 業界をリード

次亜塩素酸水は塩化ナトリウム水溶液や、薄い塩酸などを電気分解して生成する。エルビーノは専用の原液を電気分解した上で水道水と混ぜ合わせて、微酸性の次亜塩素酸水を作り出す仕組み。pH約5.0—6.5、塩素濃度で約10—50ppmの次亜塩素酸水を全自動で生成する。そのため使用現場で常に同じ品質の次亜塩素酸水を手に入れることができるのが特徴だ。

ちょうど「ティエラ」が開発に取り組んでいた平成24年に、電気分解で生成したものだけが次亜塩素酸水として認められるように厚生労働省が規格を改定した。除菌水の生成装置は多く存在するが、微酸性の生成装置はまだ少ないだけに、同社にとっては追い風だ。

微酸性の次亜塩素酸水は黄色ブドウ球菌やサルモネラ菌、ノロウイルスなど多くの菌やウイルスに効果があるが、それらを一つひとつ検証するには手間も費用も必要となる。「ティエラ」でも協力企業からアドバイスなどを得ながら検証を積み重ねてきた。「振り返れば自社だけで取り組むには危険な行為だった」と藤井専務は苦笑する。

その一方で規模は限られるニッチ市場。まだまだ大手企業には参入しにくい。そこで小回りの効く同社がどこまで市場を開拓していけるかが注目となる。



生成装置を自社製品で展開



小型で設置しやすいのが特徴



10秒の手洗いで除菌できる



介護施設などでも導入が進む

企画・提案  
量産対応  
オンラインワン

### カドマイスターの取り組み

#### 全国でネットワーク作りに 手間惜しまず

藤井専務は人脈作りのための手間を惜しまない。建設会社での業務も兼ね、東京と大阪を往復する毎日だが、5年前に自ら東京で異業種交流会を立ち上げた。必ずしもビジネスに結びつくわけではないが、交流会で知り合った人を介して東北地方の企業と代理店契約を結ぶなど、トップ自らによるネットワーク作りの成果は始めている。

人脈作りを重視するのは、代理店政策がビジネスの成否に直結すると考えるからだ。15年前に除菌水の生成装置の販売に乗り出してから、代理店は累計100社を超える。この業界ではまったくの門外漢だったため、最初はホームページへの問い合わせを通じて代理店と知り合うような状況だったという。

自社開発製品である「エルビーノ」では現時点で50社程度が代理店として販売しているが、さらに拡大していきたい考えだ。藤井専務は「売る人がもうかるビジネスモデルを構築することが成功のカギ」と話す。

### 今後の展開

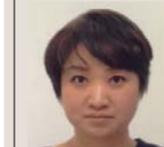
#### 「メイドイン門真」の 強みを発揮

医療機関では歯科医での採用が増え、器具の洗浄や抜糸後の感染症の予防などに使われているという。動物病院でも動物の健康管理で成果が出ている。無隔膜電解槽で水溶液を電気分解するシンプルな構造を採用したエルビーノは45万円という価格設定もあって高い競争力を得ている。

今後の課題は家庭用への展開。そこへ向けて公共施設への導入なども進め、微酸性次亜塩素酸水の認知度を引き上げることが欠かせない。そのためにはパートナー企業との連携をさらに加速することが重要となるだろう。

加えて現在取り組んでいるのがものづくり力の強化。もともと建設会社ながら、企画力とマーケティング力によって自社製品の展開までたどり着いた。さらに門真市のものづくり企業との協業を深めることで、「メイドイン門真」の強みを発揮していきたい考えだ。「次々と新しいものを生み出していないと企業は終わってしまう」と、藤井専務には立ち止まる気がさらさらない。

### 微酸性次亜塩素酸水で 社会の安全に貢献していきます

代表取締役  
藤井 真紀さん

いつ誰が操作してもまったく同じ除菌効果が得られる「微酸性次亜塩素酸水生成装置エルビーノ」によって、社会の安全に貢献していきたいと考えています。感染症による集団感染や院内感染をなくすことができれば、子供からお年寄りまで社会的弱者である人々が安心して過ごせるようになります。微酸性次亜塩素酸水は多くの菌やウイルスの除菌に効果があり、医療機関から保育施設、介護施設から食品工場など幅広い分野の安全対策に最適です。今後も製品開発に取り組みしていくことで、さらに社会に貢献してまいりたいと思います。

### 主な事業内容

微酸性次亜塩素酸水生成装置の開発、製造、販売

### 主な取引先（納入先）

医療機関、保育施設、介護施設、食品工場など

【住 所】〒571-0015 大阪府門真市三ツ島6-25-3

【TEL】072-887-0777

【FAX】072-887-0778

【創 業】平成16年7月 【設 立】平成16年7月

【資本金】1,000万円 【従業員】3名

<http://tierra-club.com/>

